

【投稿規程】

研究論文・資料等の投稿を希望される方は、以下の規程に従って投稿してください。

1. 投稿は原則として日本遊戯療法学会会員に限る。ただし編集委員会の決定により、会員外の著者に寄稿を依頼することができる。
 2. 投稿論文の内容は未公刊のものに限る。
 3. 研究論文・資料には、和文および英文の要約をつける。和文は400～600字、英文（ABSTRACT）は200語程度（論題、氏名・所属、キーワード、を含む）とする。また英語の専門家の校閲を経ていること。
 4. キーワードは5つ以内とする。
 5. 形式は、①題名、②著者名、③所属、④日本文要約、⑤キーワード、⑥本文（⑥」「付記」）、⑦文献、⑧英文要約の順序とする。なお、①②③④⑤⑧は1行40字の横書き、⑥⑦は40字×30行の横書きとする。すべてワープロソフトを使用してA4判の用紙に印字する。
 6. 論文の長さ（図・写真・表を含む）は全体（⑥+⑦）で、本誌10頁分として、16,000字以内とする（40字×30行のフォーマットで13.3枚以内。ワード等の文字カウントは使用しないこと）。図・写真・表が入る場合は、誌面に掲載する大きさを想定したうえで字数に換算し、論文全体の長さが所定の字数を超えないように注意する。
(参考) 本誌1頁は約400字×4=1,600字である（たとえば、図表を半頁大で掲載したい場合は、800字分として換算し、本文の字数を調整する）。
 7. 図・写真・表は1頁あたり3個以内を目安とし、鮮明で印刷しやすい形にして提出する。また、図1、表1というように通し番号をつけ、それぞれに題と内容を原則として和文で記載する。
 8. 記述は、新かなづかい、常用漢字、算用数字を用い、読点は「、」、句点は「。」とする。
 9. 見出しの階層は、原則として以下の表記を用いる。
I ……、1. ……、1) ……
 10. 度量衡の単位は原則としてメートル法を用い、mm, cm, mg, kgなどと記す。
 11. 外国人名や地名などの固有名詞は、原則として原語を用いる。その他の外国語はなるべく訳語を用いること。
外国語を用いる場合は、初出の際訳語に引き続いて（ ）で原語を示すものとする。
 12. 文献の記述形式は、以下のとおりとする。
 - (1) 本文中に文献を引用した場合は、引用した箇所を「　」でくくり明示すると同時に、著者名と公刊年を記載すること。
 - a) 本文中に、著者名を記載する場合
神田橋（1989）は、「〇〇〇」と述べている。
 - b) 引用の終わりに、著者を示す場合
「〇〇〇」（神田橋、1989）。
 - c) 訳本の場合には、原典の発行年と訳本の発行年を、"/" で併記する。
本文中記載：Winnicott (1971/1979) 引用末記載：(Winnicott, 1971/1979)
 - d) 著者が複数いる場合には、筆頭者のみを挙げ、和文献であれば“ら”，洋文献であれば，“et al.”を用いる。
〈和文献の例〉本文中記載：安永ら（2004） 引用末記載：(安永ら, 2004)
〈洋文献の例〉本文中記載：Ainsworth et al. (1978) 引用末記載：(Ainsworth et al., 1978)
 - (2) 引用文献は、本文の終わりに「文献」の見出しで、著者の姓を規準にしてアルファベット順に一括して記載すること。
 - a) 雑誌の場合：著者名、公刊年（西暦）、論題、誌名、巻（太字）、号、記載頁の順序による。なお、雑誌名の記載に際しては、和・欧いずれの場合でも、「心研」「J. Clin. Psychol.」といったような略記をしてはならない。
〈洋雑誌例〉
Bick, E. (1986) : Further considerations on the function of the skin in early object relations. *British Journal of Psychotherapy*, 2(4), 292-299.
- （和雑誌例）
安永彰子・朝長美智子（2004）：場面緘默児への遊戯療法と母親への並行面接. 遊戯療法学研究, 3(1), 43-52.
b) 単行本の場合：著者名、公刊年（西暦）、書名、発行所の順序とする。ただし編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者を筆頭にあげ、以下、公刊年、論題、編者名、書名、発行所、頁の順とする。
〈洋書例〉

Ainsworth, M. D. S., Blehar, M. C., Waters, E., & Wall, S. (1978) : *Patterns of attachment*. Hillsdale: Lawrence Erlbaum Associates.

〈和書例〉

神田橋條治 (1989) : 精神療法 1 神経症. 土居健郎・笠原嘉・宮本忠雄・木村敏 (編) : 異常心理学講座IX 治療学. みすず書房, pp. 71-118.

〈訳本例〉

Winnicott, D. W. (1971) : *Playing and reality*. London: Tavistock Publications. 橋本雅雄訳 (1979) : 遊ぶことと現実. 岩崎学術出版社.

- c) 著者名を規準にした一括記載の場合、同一著者で2種以上の文献がある場合は発刊年度の早いものから順に並べる。さらに同年に同一人の2種以上の文献がある場合には、1980a, 1980b のように区別して記載すること。
13. 事例の記述に際しては、原則として終結事例（中断事例を含む）とし、連絡等が取れない場合を除き、クライエント本人（あるいは保護者）の同意を得ること。所属・関連機関等に倫理委員会がある場合は、その承認を得ること。倫理委員会がない場合には、所属機関等の所属長の許可を得ていること。こうした倫理面の配慮について論文中に明記すること。以上の点に十分配慮すること。
14. 謝辞を記載する場合は、本文の終わりに一行あけ、「付記」の見出しへ書いて書く。
15. 投稿にあたっては、ホームページ掲載の「投稿票」に研究論文、資料などの別を明記し、投稿原稿（正）1部、そのコピー2部（副）、計3部と、投稿原稿のデータが入った電子媒体を『遊戲療法学研究』編集局宛に提出する。提出は受け取りが確認できる方法（簡易書留、レターパック、宅配便など）で送付する。あわせて、ホームページ掲載の「執筆者の活動領域および経験年数」も同封する。
16. 投稿を受理された論文の著作権は、投稿者の委託を受け日本遊戲療法学会が保有する。なお、『遊戲療法学研究』に掲載された論文は電子媒体等を含め、学会の許可なく無断で複製・転載してはならない。
17. 研究論文・資料の執筆者には、抜刷としてPDFを贈呈する。
18. カラー図版の掲載を希望する場合はカラー掲載料を、要約部分の専門家による英文校閲を希望する場合はその費用を、それぞれ投稿者が負担する。

付則) この投稿規程は令和4年11月13日より施行する。